南部片富士湖だより

No.１１４　平成２７年１１月２７日　発行
北上川ダム統合管理事務所 管理第二課
〒020-0123　盛岡市下厨川字四十四田１番地　TEL 019-643-7972　FAX 019-643-7976

「第22回 松園十景を歩く会 &ダム水源地写真撮影会」が開催されました

平成27年11月1日（日）に松園地区及び四十四田ダム周辺で、松園商工会（共催：四十四田ダム水源地ビジョン推進会議）による「第22回松園十景を歩く会＆ダム水源地写真撮影会」が開催され、盛岡市内外から14名が参加しました。

せせらぎ通り

松園水辺公園

小野松橋から

この取組みは、松園商工会が毎年開催している「松園十景を歩く会」と連携し、四十四田ダム及び北上川の『自然・歴史・人』に係わる景観、景色などを再発見することを目的とし、ウォーキングを通じて交流し合いながら、地域の魅力を確認し合うものです。

当日は、松園十景のうち、5ヶ所を廻る約6kmのコースを歩きました。
（松園中央公園→せせらぎ通り→小野松一里塚→ドミニカンロザリオの聖母修道院→四十四田ダム湖畔）

各ポイントでは、松園商工会の方による地域の歴史などについて説明を受け、普段見慣れている風景にさまざまな由来があることを再確認しました。

写真撮影会では、各自が秋をテーマとした写真を撮影しました。また、この日は晴天に恵まれ、岩手山を背景に写真を撮る方が多くいました。

四十四田湖畔からは、周辺をもみじに彩られたダム湖が見え、季節の移り変わりを実感する事ができました。

ドミニカンロザリオ聖母修道院前

四十四田ダムの天端から

松園中央公園

白鳥がやってきた

今年も四十四田ダムに白鳥がやってきました。白鳥がくると冬の訪れを感じます。春の旅立ちの時まで、ゆっくりと羽を休めてほしいです。

流木提供について

今年の流木の提供は、12月10日（木）をもって終了となります。
今後の提供時期につきましては、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

平成27年度　第１回県北地区安全パトロール

11月20日(金)午後、県北地区の工事・業務担当者と北上川ダム統合管理事務所職員の合計27名が参加し、「平成27年度第1回県北地区安全パトロール」が実施されました。

このパトロールは工事現場における安全性の向上と事故防止を目的として毎年実施しているものです。

今回現場パトロールを行った工事は、御所ダムで施工している「御所ダム発電機室工事」で参加者は各班に別れ、危険箇所の有無や、良好な事項などの確認を行いました。

点検結果として工事は、全般的に整理整頓され安全対策にも配慮されている現場であることが確認されましたが、一部改善箇所もあり、検討会では各班から点検結果が報告されました。なお、参加者は、この安全パトロールを機会に、それぞれが担当している工事・業務の安全管理をより万全にしていくことを確認しました。

松尾鉱山新中和処理施設を見学してきました!!

新中和処理施設が完成する昭和56年以前は、旧松尾鉱山から大量の強酸性水が赤川に流れ込み北上川本流を汚染し、長年魚も住めない「死の川」として大きな社会問題となっていました。その後、新中和処理施設により坑廃水を中和処理する事によって、北上川は清らかな流れを取り戻し、「母なる川」としてよみがえることができました。

汚染された北上川の様子
(松川との合流点)
昭和49年(1974年)当時

四十四田ダムが完成した昭和43年当時は鉄分を含んだ旧松尾鉱山廃水がダムに流れ込み、ダム本体も赤色に染まっていました。

現在のダムの様子。本来のダムの色を取り戻し、自然豊かなダムへと姿を変えました。

～「新中和処理施設」ではこのようにして中和処理をしています～

旧松尾鉱山には、膨大な量の硫化鉄鉱などの鉱石が膨大に残っており、採掘された坑道に地下水や雨水が流れ込み鉄を含む強酸性水が生成されます。これらの坑廃水を処理する新中和処理施設では、坑廃水中に生息する鉄酸化バクテリアを利用した中和処理を実施しています。

この時点では水は透明。
でも、有害な物質が含まれています。

原水湧出孔
(坑内から湧出する抗廃水)

中和剤と反応して、有害な鉄やヒ素が赤色の殿物となります。

中和槽
(バクテリアと炭酸カルシウム溶液を添加し中和)

沈殿物を取り除いた、透明で無害な水だけを川へ戻します。

固液分離槽
(有害な鉄やヒ素が殿物となり無害となった上澄みが川へ)

このように新中和処理施設は北上川を守るため日夜動き続けています

四十四田の水質・・・10月14日採水

今回の検査でも異常はありませんでした

☆ 水温：12.5 ℃　☆ pH：7.5　☆ COD：2.2（水質悪化の指標）　☆ ヒ素：なし

編集後記

早いもので今年も残すところ１ヶ月となりました。１年が過ぎるのが年々早く感じます。車通勤の私にとって、冬は車の雪下ろしや除雪、路面凍結と、気を緩められない季節です。シートベルトをしっかり締め、気持ちにも時間にも余裕のある運転を心がけたいと思います。（内）